

# (仮称)つくし野自治会館建設についての説明会報告書

日時 2018年11月25日(日)10時から11時50分

場所 つくし野コミュニティセンターホール

参加者 72名(1.2丁目 29名、2丁目 16名、3丁目 15名、4丁目 9名)

市議員 園城由久、細野龍子、友井和彦

提出資料 自治会館建設委員会の検討状況とこれからの計画(案)

(仮称)つくし野自治会館Q&A(案)

自治会館建設費比較検討資料

つくし野地区周辺自治会館の収支について

参考イメージ 平屋、2階建て

## 1、建設委員会鶴養委員長から、建設委員会の検討状況とこれからの計画を説明(約30分)

説明会の目的は、①建設委員会の検討状況と今後の計画について説明する。②皆さんから多様なご意見を伺う。

## 2、質疑応答は、延べ18人が発言(内容ごとに整理すると以下の通り。(詳細はネットにアップされる概要記録を参照)

資料等の開示を求める意見

- ・ 他の自治会館の収支、建設時期、建設費用、面積、部屋割り、自治会負担金、利用者数
- ・ 多数の人が納得するデータ

会館の利用需要についての意見

- ・ 会館は遠いし、センターで十分と言う人も多いので、それほどいらないのではないか。つくし野センター利用団体へのアンケートで、会館を利用しないというのもあったと思う。
- ・ 今回の自治会館の構想を見ると部屋が狭いので、ホールを使いたい人の会館ではない。そのような需要を充足する会館であるべきだ。
- ・ 自治会の活動が衰退しこのセンターも利用率が低下しているのに、新たな会館がなぜ、必要なのか？
- ・ このセンター第1、第2、和室のいずれかの部屋が空いている状況がこの先30日間で88.5%である状況下で、新たな会館は不要では？

アンケートに関する意見

- ・ 次回のアンケートは部屋の広さなどを示してやってほしい。
- ・ アンケートの際は、自治会館を是非、どのように使いたいという熱い思いを集計したらどうですか？
- ・ アンケートの内容を皆さんの意見を聞いて吟味してから実施して欲しい
- ・ アンケートの内容は、どんな部屋をどんなふうに使いたいかなどを聞いてほしい。飲食とか災害はこの次です。

ふれあい基金についての意見

- ・ ふれあい基金を使うならもっと多くの人の意見を聞くべき。ふれあい基金は1丁目の人達に出た金です。
- ・ 基金を30年間まったらかきにしているのはおかしい。このお金で皆さんが喜ぶ自治会館を作って欲しい。

会館建設・運営の自治会負担についての意見

- ・ 基本的に自治会には、負担を求めないということか？
- ・ 詰めが甘いところがあるので、今回は見送って次回のほうがいい。中規模施設が35ある。これを調べていい作戦があれば取り入れてもらいたい。金銭的な内容は、経理のプロに相談されたら？自治会の負担がこのくらいになるといつてもらえると安心できる。
- ・ 30年後の建て替え時期になった場合、その費用は？減価償却費を経費の中に入れるべきでは？
- ・ 高齢化と人口減でイベントが人手不足で次々中止になっている。自治会館の維持管理は、自治会では無理では？センターが地元に移管されるかもしれない。2つも会館を運営するのは難しい。
- ・ 金の使い方の議論も大事だが、もっとコミュニケーションを活発にして、つくし野の活性化をと図る必要があるのでは？自治会館づくりにあたって、昔のパークロードの賑わいを取り戻せるよう期待したい。
- ・ 自治会として自由に使える自治会館が必要であるという燃える思いが伝わらない。我々に夢を与えていただきたい。地域のために使う会館に、地域が負担しなくていいというのは甘い。自治会負担は当然であって、各自治会とも積立金があって豊かだから、これを使えば会費が上がるということはない。建設の広報をしっかりしてほしい。
- ・ 自治会としての負担がなくて運営はむずかしい。自治会館ができた時に一人一人負担をしていくのかを考える必要がある。建て替費用、更地にするときの解体費用、運営の努力など。自覚をもって賛成反対をしてほしい。

その他の意見

- ・ コミュニティーセンターでも飲食ができるところもある。自治会館を防災拠点にするということは、市の防災計画との関係もあるので公にするのはまずいのでは？Q&A問6で、「高齢者が交流する場所や機会が多い地区は健康寿命が高い」というのはデータとして根拠がない。
- ・ 高齢化が進んでいる状況なので、是非、お年寄りのコミュニティの場所として建設して欲しい。

## 3、説明会で出された意見等を整理・分析して、今後の取り組みに生かすこととします。

以上